

京都環境賞

副賞
50万円

Kyoto Environmental Award

里山資源

テーマ

竹の化学産業資材化を通じた放置竹林対策活動

活動内容

放置竹林問題の解決を目指し、平成18年度より竹炭焼成活動を行うとともに、近年では、竹から化学的成分を抽出し、産業資材とする開発に取り組んでおられ、竹利用石鹼「京の石鹼なよ竹」、「京の石鹼玄竹」の販売や食品用の竹表皮色素(緑色)の褪色防止技術の開発、竹表皮抽出物の化粧品原料としてのアメリカ化粧品業協会での登録受理など、多くの実績を挙げられています。

また、専門誌への執筆活動や各種イベントでの展示会の開催など、消費拡大に向けた竹文化の啓発活動にも積極的に取り組まれています。



竹の伐採活動の様子



竹表皮色素を利用した食品の試作品



イベント出展の様子(手作り石鹼体験)



竹利用石鹼「京の石鹼玄竹」

